記者発表

地域を“みず”から守る。
東北流域治水

令和４年６月３０日
国土交通省宮城南部復興事務所
丸森町

令和元年東日本台風災害と丸森町の復興に関する防災学習
丸森町立舘矢間小学校が現場見学を行います

◆見学日時：令和4年7月7日（木）　10:30～11:15
◆会　　場：丸森雨水ポンプ場付近 堤防天端（内川・新川合流点）

＜概要＞

丸森町立舘矢間小学校では、「地域連携型学校防災体制等構築推進事業」実践推進協力校として、防災教育の取り組みに力を入れているところです。

今般、舘矢間小学校からの依頼を受け、国土交通省宮城南部復興事務所と丸森町の協働により、５年生児童（33名）に「令和元年東日本台風の災害と丸森町の復興をテーマ」とした「現場見学（防災学習）」を実施します。





＜見学内容（学習内容）＞

宮城南部復興事務所：　令和元年東日本台風の災害概要、河川災害復旧　等
丸　　森　　町：　災害公営住宅建設、丸森雨水ポンプ場の改築　等
学 習 の ポ イ ン ト　：　現場見学を踏まえ、児童が自ら感じたことや、防災に対する課題、自分たちができることなどの気づきに繋げる。
河川の侵食や堆積など自然の成り立ち、護岸の必要性、内水のメカニズムなどから自然災害に対する知識を得る。

＜地域連携型学校防災体制等構築推進事業とは＞

地域ぐるみの新たな学校防災体制構築に係る優良事例の創出に向けて取り組んでいる本事業について、実践研究協力校4校が学校防災アドバイザーを交えて、地域の災害特性に応じた実践研究を行っています。

舘矢間小学校における令和3年度の取り組みは丸森町HP→トップページ→子育て・教育→丸森町立舘矢間小学校→「地域連携型防災体制等構築推進事業」実践協力校としての取組に掲載しています。

【参考】地域特性を踏まえて指定した実践研究協力校及び学校防災アドバイザー

No.	実践研究協力校　（地域特性）	学校防災アドバイザー
1	丸森町立舘矢間小学校（河川沿い）	東北大学災害科学国際研究所 准教授　柴山　明寛　氏
2	石巻市立青葉中学校　（沿岸部）	東北大学災害科学国際研究所 教授　佐藤　健　氏 宮城教育大学 講師　林田　由那　氏
3	気仙沼市立大谷小学校（沿岸部）	東北大学災害科学国際研究所 准教授　佐藤　翔輔　氏
4	宮城県立涌谷高等学校（河川沿い）	東北大学災害科学国際研究所 教授　佐藤　健　氏

＜取材にあたってのお知らせ＞ 別添１「取材要領」参照

※ 荒天や災害等で中止の場合は7月6日（水）15時頃まで判断しますので、
事務所HP（https://www.thr.mlit.go.jp/nanbufukkou/）をご確認ください。（小雨決行）

発表記者会：白石記者クラブ、宮城県政記者会、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会

問い合わせ先

国土交通省　東北地方整備局　宮城南部復興事務所
宮城県伊具郡丸森町字除北20番地　電話：0224－51－8290（代表）
副所長（技術）　斎藤（さいとう）　巧（たくみ）　　建設専門官　松田（まつだ）　宏一（こういち）

丸森町　建設課
宮城県伊具郡丸森町字鳥屋120　電話：0224－72－2111（代表）
課長　八巻（やまき）　一浩（かずひろ）　　土木班長　八島（やしま）　大祐（だいすけ）

〔別添１〕

〔取材要領〕

１．事前申し込みについて

取材を希望される方は、下記〔メール記載事項〕を記入の上、「申込先のメールアドレス」へ送信願います。

申 込 先： thr-miyaginanbu-mi@mlit.go.jp

申込期限： ７月６日（水）１２：００

（スムーズな運営のため、御理解と御協力をお願いいたします。）

〔メール記載事項：本文に直接記載いただくことも可能です。〕

メール件名：220707 舘矢間小現場見学

松田　あて

下記のとおり７月７日の取材を申し込みます。

1）所属記者会名　（宮城県政記者会、東北電力記者会、東北建設専門紙記者会 等）

2）取材者（代表者）の会社・部署名・役職・氏名・連絡先

（連絡先（携帯番号等）は必ず、記載してください）

3）取材者の人数　（カメラマン、音声担当等も含めた総人数）

上記事項は、日程の変更などのお知らせや、取材スペースの確保に必要な情報となりますので、記入漏れの無いよう御協力をお願いいたします。

２．取材当日について

○ 宮城南部復興事務所にて受付をお願いいたします。

・受付時間　９：３０～１０：００

（注意事項）

・取材にあたっては担当者の指示に従うようお願いいたします。
・新型コロナウイルス感染防止のため、体調の悪い方は、出席を控えてください。
・取材をされる方は、マスクの着用をお願いします。
・密集回避のため、最低限の人数による取材をお願いします。